

2021 年度第 8 回価格審査会の開催について

2021 年度第 8 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2021 年 11 月 15 日(月)	
場 所	6 階大会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 6 回価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 7 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」11月号、「Web 建設物価」11月号の価格動向</p> <p>・価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】</p> <p>月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼、鋼矢板、鋼管ぐい・鋼管矢板、鋼管、鋼板・平鋼(全国)、異形棒鋼(全都市)、ねじ筋鉄筋(全都市)、H形鋼(全都市)、等辺山形鋼(全都市)、溝形鋼(全都市)、リップ溝形鋼(全都市)、鋼板(全都市)、市中切板(全都市)、コラム(全都市)、ステンレス鋼(全都市)、線材製品(北海道、東北、関東、北陸、中部地区)、六角ボルト(全地区)、細線溶接金網(全地区)、レディーミクストコンクリート(函館、小樽、盛岡、八幡平A、葛巻、郡山、本宮、魚沼、南魚沼、大垣、山口C、観音寺、さぬき)、再生砕石(小樽、旭川、糸魚川)、PHCパイプ(水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、東京、横浜)、SCパイプ(水戸、宇都宮、前橋、さいたま、千葉、東京、横浜)、一般建築用木材(北海道、沖縄を除く全都市)、仮設・土木用木材(関東、北陸、中部の各都市)、コンクリート型枠用合板(全都市)、アスファルト混合物(長野A・B、松本A・B、上田、飯田、諏訪、伊那、大町、飯山、佐久、木曽、京都A・B、福知山、舞鶴、宇治、宮津、亀岡、京丹後、南丹、木津川、岡山、倉敷A・B、津山、総社、美作、佐世保)、自由勾配側溝(京都、福知山、宮崎)、600Vビニル絶縁電線(IV)(全地区)、配管用炭素鋼鋼管(ガス管)(全都市)、ポリエチレン被覆鋼管(全都市)、燃料油(軽油・ローリー)(全都市)、鉄スクラップ(全都市)、銅スクラップ(全都市)ほ</p>

<p>か</p> <p>・価格が下落した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】</p> <p>塗膜剥離剤、木質系床材（単層フローリング・特殊品）の一部製品</p> <p>・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。</p>		
審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問1	フッ素樹脂塗料が不足しているという話を聞くが、フッ素樹脂塗料及び、フッ素樹脂塗装された資材に影響は出ていないのか。	フッ素樹脂塗料の不足は把握しており、メーカーから値上げの意向は聞いているが現状横ばいで推移している。引き続き注視したい。
質問2	アルミサッシが横ばい推移だが、アルミの値上がりの影響はでていないのか。	原材料であるアルミは値上がりしており、メーカーはアルミサッシの仕切りを見直すという話も一部にある。今のところ値上げは聞いていないが、引き続き注視したい。
質問3	異形棒鋼は、先月横ばいで今月は鉄スクラップ上昇分が転嫁され大幅に上昇しているように見える。海外は落ち着きを見せているが、今後の動きをどのように見ているのか。	国内の鉄スクラップは、海外価格の影響を受け、足元では価格下落の動きが見られる状況である。しかし、メーカーは今の価格では採算がとれない水準であると、値上げを進めている。メーカーと流通筋の売り腰の強さから目先強含みと見ているが、上げ下げ両方の要因が見受けられるため、今後どのくらい上伸するか予想は難しい状況である。
質問4	アスファルト合材で長野地区の夜間割増額が2倍以上上昇したが、その理由を他地区の状況と合わせて知りたい。また、夜間単価は、掲載価格に夜間割増額を加算して算出するのか。	長野県内の夜間割増額は、300~500円で推移していたが、夜間工事が少なく採算が合わない事から、メーカー各社が値上げし、1,000円になった。地区によって価格設定はまちまちであるが、都市部は夜間工事が多いこともあり、割増額が安く抑えられている傾向もある。夜間単価は、合材の掲載価格に夜間割増額を加算して算出する。
質問5	上伸資材が目立つなか、木質系床材ーブランド品ーで製品の一部が下落している。木材自体には価格変動が見られないが、なぜ下落となったのか。	メーカーは、コロナ禍の影響から一部の高級品について、戦略的に価格を下げたためである。

質問 6	鋼材系の製品価格や原材料費が上昇しているが、価格転嫁がしやすい製品などはあるのか。	原材料の動向と需給バランスが市況を形成する二大要因である。今年の鋼材価格上昇は、原材料要因が強く働いている。需給バランスを見ると建設系需要は軟調だが、製造業や造船の需要は堅調で、鋼材全体でいうと需給はタイトである。鋼材の中でも主に建設系で使用する材料は値上げのスピードが遅い。
質問 7	縞鋼板価格の上昇が、中部以西のみということだが背景を知りたい。	鋼材全般にメーカーと流通筋が各地区で値上げを打ち出しているが、浸透状況は地区や資材によってまちまちである。各地区の売り手と買い手の交渉の過程・結果で中部以西では交渉が進み上伸となった。
質問 8	生コンの盛岡地区で「人件費上昇」とあるが、職人不足の様な事が起きているのか。生コンの特有の職人不足があるのか。	生コンの人手不足による値上げは、各地区で見られる。地場産業による資材は、製造・運搬共に人手不足の問題を抱えている場合が多い。加えて、働き方改革によるコストアップもある。
質問 9	盛岡地区の生コンで、1,000 円の値上げにも関わらず「協組と販売店は積み残し分の浸透を目指しており、先行き、強含みの見通し。」とある。岩手県自体は公共工事が減少している認識だが、値上げ後さらに強含みの理由はなぜか。	今月は 1,000 円の値上げの内、500 円を需要家が受け入れて上伸した。残りの 500 円の値上げを協組が引き続き交渉している。盛岡地区は、一昨年、有力な員外社が協組に加入しており競合他社が存在しない。そのため、需要が減少している中でも強気な交渉ができる環境である。
質問 10	京都府内のアスファルト合材は、府内一律で 300 円の上伸だが、長野県内は、最低 600 円、最高 1,000 円の上伸となっている。上伸価格の差が出る理由は何か。	アスファルト合材は地区ごとの運搬距離の違い等により輸送コストが異なる。輸送コスト費の上昇が大きい地区は、メーカーの値上げ幅が大きく、地区ごとに変動額が違う要因となっている。
質問 11	海外市場取引の情報入手方法として、調査会として独自の調査ルートや情報ネットワークを持っているのか。今後、どう積極的に取り組んでいくのか教えて欲しい。	製品を輸入している商社等から情報を収集している。また、原材料を輸入して製造している国内のメーカーや流通にも価格調査時に調査結果の妥当性を確認する目的でヒアリングをしている。また、専門誌の価格情報なども収集している。
審議結果	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向に問題はなかった。	

以上